

## 在来家畜研究会報告の執筆要領

在来家畜研究会報告は、会員からの調査報告（調査の行動経過の概要，カウンターパートによる現地の状況報告などを含む），調査結果，研究論文（原著論文），論説，総説等と研究会会記を掲載する。

### I 調査結果の原稿作成要領

#### 1. 論文の構成

- (1) 本文が日本語の場合は，原則として，緒言（緒言という見出しは付けない），材料（調査材料），方法（分析方法，調査方法）又は，材料及び方法，結果，考察又は結果及び考察，摘要，文献及び英文 **Summary** の順とする。
- (2) 一頁目には，論文題目，著者名（所属ごとに肩番号をつける），所属機関名，本文の順に記載する。
- (3) 本文が英語の場合は，原則として，**Abstract, Introduction, Materials, Methods**（又は **Materials and Methods**），**Results, Discussion**（又は **Results and Discussion**），**References**，日本語 **Summary** の順とする。英文は十分に推敲し，校閲を受けたものが望ましい。原著論文の場合は，専門の英文校閲サービスによる校閲を受けてください。
- (4) 総説，資料等の構成は論文と同じである必要はないが，単位，引用文献等については本要領に従うものとする。

2. 原稿は，雛形様式に従ってデジタル原稿で作成することを原則とする。原稿ファイルは **E-mail** に添付して送付するか，**CD** 等に保存して郵送ください。デジタル原稿の作成には本文は **Word**，表は **Word** または **Excel**，図は **Power Point** または **pdf** ファイルを使用し，その他のワープロソフト等で作成した場合は，テキストと **pdf** ファイルに変換してください。また，電子データの送信時の文字化け等がないか確認するために，原稿を印刷してスキャンしたファイルあるいは全体を **pdf** に変換したファイルを同封してください。

3. 図及び表の説明は英文を用い，図及び表の原図は本文とは別のファイルとして作成してもよい。その場合，本文中に挿入場所を指定すること。

4. 学名，遺伝子記号（遺伝子型，遺伝子座名）はイタリック指定とする。

5. 数字は算用数字を用い，諸単位の略号は原則として **SI** 単位を用いる。

6. 本文が日本語の場合，句読点は「，」と「。」を用いる。

7. カラー写真の掲載費用は無料とし，別刷りの印刷は原則として著者で行う。

8. 文献は，論文の場合，著者名，論文タイトル，雑誌名，巻，頁，発行年の順で，単行本の場合は著者名，書名，出版社，出版地名，発行年の順で記載する。

## 9. 文献記載例

### (1) 外国語の単行本

Sokal RR, Sneath PHA. *Principals of Numerical Taxonomy*. Freeman, San Francisco and London, 1963.

### (2) 和文の単行本

野澤 謙, 西田隆雄. *家畜と人間*. 出光書店. 東京, 1981.

### (3) 外国語の論文

Kuhlein U, Zadworny DD, Gavora JS. DNA fingerprinting : a tool for determining genetic distances between strains of poultry. *Theor. Appl. Genet.*, 77: 669-672, 1989.

### (4) 和文の論文

天野 卓, 並河鷹夫, 庄武孝義, Cyril HW. スリランカにおける水牛の血液蛋白多型, *在来家畜研究会報告*, 11: 117-128, 1986.

文献の記載順序は, 筆頭著者のアルファベット順とし, 同一著者については年次順とする。

### (5) 本文中の引用例

(1) の場合 Sokal and Sneath, 1963

(2) の場合 野澤・西田, 1981

(3) の場合 Kuhlein *et al.*, 1989

(4) の場合 天野ら, 1986

10. 和文並びに英文 **Summary** は, これだけを読んでも内容が理解されるように, 本文中の図や表を言及しながら記述すること。

\* 投稿する際, 「原稿送り状」に必要事項を記載し, 原稿と一緒に送付する。

## II 研究論文(原著論文)の投稿について

1. 研究論文の採否は編集委員会の審査を受けた後, 幹事会において決定する。
2. 本誌に掲載された研究論文の著作権は在来家畜研究会に属する。
3. 研究論文は英文または和文とし, 英文の場合は事前に校閲を受けておくことを原則とする。
4. 研究論文の原稿作成要領は調査結果の論文に準ずる。ただし, 摘要, 英文 **Summary** または **Abstract**, 和文 **Summary** にはキーワード(または **Key words**) を末尾に記載する。
5. 投稿の際, 「原稿送り状」に研究論文であることを明記し, 原稿と一緒に送付する。

附 則

この要領は令和 4 年 10 月 1 日より施行する。

原稿の送付先

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科動物遺伝育種学研究室

山縣 高宏

Tel: 052-789-4102

E-mail: tyamag@agr.nagoya-u.ac.jp